



日本医療機能評価機構認定病院

美山だより



第25号
2013.12

社団医療法人 啓愛会

美山病院

〒023-0132 奥州市水沢区羽田町字水無沢495-2

TEL 0197-24-2141

FAX 0197-24-2144

URL <http://www.keiaikai-miyama.jp/>

理念

よき医療とやすらぎの環境

美山病院の基本方針

- 1・地域医療に貢献し、すべてのサービスに誇りと責任を持ち愛される病院になります。
- 2・医療人としてよりよい医療や看護が提供できるよう自己研鑽します。
- 3・安心した療養生活ができるように心の通った介護をいたします。
- 4・健全経営を確立し、常に個人と組織が向上する環境を保ちます。
- 5・病院組織をあげて医療の安全確保や感染対策に最善を尽します。

「地域に根差す緩和ケア」と題し事例紹介

日時 平成25年6月25日 午後3:00~

場所 江刺区総合支所2F

講師 美山病院 院長 及川司



「事例紹介の様子」

奥州市地域包括支援センターから依頼され医療と介護の連携に関する事例紹介として、江刺区内の居宅介護支援事業所の介護支援専門員や市内医療機関連携担当職員の皆様に緩和ケアについて、また看取りや訪問についてお話をさせて頂いた。

質問者のなかには訪問診療を今後どう考えているのでしょうかと具体的にお尋ねする方もあり、自分の目指す処は実はそこにあるのだが、医者不足の為現状としては叶わないのが現実です。

今後私たちの目指す処に共有できる先生方を募り現実のものとしていきたいとは思っていますと答えました。

一目 次一

1P・・・奥州市地域包括支援センター依頼にて講演

2P~3P 11月リンパ浮腫外来開設

4P・・・今年の緩和ケア市民公開講座の様子

平成25年11月 リンパ浮腫外来開設しました

リンパ浮腫について

リンパ浮腫は、乳がんや子宮がんなどの治療に伴うリンパ節の外科的切除などにより、リンパの流れが滞り、細胞の隙間に水分が貯留することにより起こります。このため、手足がはれて、だるさ、重さ、疲れやすさを感じやすくなり、がん治療による後遺症の一つです。



ドレナージセラピストの認定者



リンパの流れを改善するため施術中の様子

「リンパ浮腫外来はこのような患者様を支援します」

乳がんや子宮がん、前立腺がんなど、がんの手術や放射線治療後で、

すでに脚や腕のリンパ浮腫がある

まだはれていないが兆候がある

(脚や腕がだるい、はった感じがする、疲れやすいなど)

兆候がないが予防したい

がんの治療中で、腕や脚がはれて辛い など

施術室が綺麗に完成してあります。
温かみのあるカラーで統一してみました



医療リンパドレナージセラピストの認定者

(理学療法士、看護師) 2名が対応します

医療リンパドレナージの講習会を終えて

看護師 千田和実



私は以前よりリンパ浮腫について興味があり今年の5月から8月の4ヶ月間講習会に参加し、リンパ浮腫治療について学んできました。リンパ浮腫を発症する原因は様々で、症状もひとりひとり違います。がん術後の後遺症だから仕方ない、むくみを感じ辛いと感じている方の手助けをしたい。まだまだ経験は未熟ですが、むくみで困っている方にぜひリンパドレナージの体験をしてもらいたいと思っています。ドレナージはとてもゆっくりとした優しい圧で行うので気持ち良さを感じていただけると思います。治療をすれば症状が軽減し、浮腫の少ない状態を維持する事が出来ます。あきらめず、むくみを感じ困っている方がいましたら気軽に声をかけて欲しいと思っていますし、あなたがいてくれて良かったと思ってもらえるセラピストになりたいと思っています。

目指せ！最強パートナー！

理学療法士 伊藤恵美



当院リンパ浮腫外来のセラピストは、慎重派で頼りがいのある長女気質のNs 千田と、おっちょこちょいで妹気質のPT 伊藤がタッグを組んでいる。

職種や性格は違う二人だが、リンパ外来への熱意や向上心は同じで、いかに患者様に選ばれる病院になるか、いかに患者さまのQOL 向上につなげられるか、話し始めたらきりがない。

タッグとしてもセラピストとしても初々しい2人だが、最強のパートナーになれる様、そしてリンパ外来で美山病院を一層盛り上げていける様、2人で切磋琢磨していきたい。

●予約について

窓口 担当者(伊藤・千田) 0197-24-2141 (代表)

受付・時間 月曜日～金曜日(祝日を除く) 9:00～17:00

※これまでの病歴、手術歴、現病歴が書かれた主治医からの「紹介状(診療情報提供書)」をお持ちください。セラピストによる治療の前に医師の診察を受けていただきます。

●治療について

月曜日～金曜日(祝日を除く) 10:00～15:30

“今年も緩和ケア市民公開講座を各地で開催”

今年度のテーマは「緩和ケアを知ろう」と初步的な部分からもう一度お話をさせてもらうこととし、各地に出向き公開講座を開催しました。

○平成25年7月19日／8月23日

岩谷堂地区センター／胆沢文化創造センターで18：30から開催



まごころ病院伊藤先生質問
胆沢文化創造センターにて



菊池緩和ケア科長
岩谷堂地区センターにて



江刺病院 川村副院長
岩谷堂地区センターにて

及川院長に挨拶を頂き、開催。講演内容は菊池緩和ケア科長による「身近です緩和ケア」と佐藤緩和ケア病棟師長による「緩和ケア病棟のあれ・これ」を一般の方が聞いても解りやすく述べました。各地の会場に30名～40名ほどの参加を頂きました。岩谷堂地区センターでは県立江刺病院の川村副院長先生に飛び入りで登場、先生の視点での命と向き合う大切さを話して頂きました。8月23日には、まごころ病院内科医の伊藤先生より質問を頂き、どのタイミングで紹介を求めたら良いのか等質問があり、内容が皆さんにも参考になる質問でとても良かったようです。

○平成25年10月10日（木）奥州市文化会館乙ホール（中ホール）で開催



講演内容「緩和ケアチーム看護師の立場からお伝えしたいこと」

講師 東京都清瀬市松山3丁目1-24
公益財団法人結核予防会 複十字病院
緩和ケア認定看護師 小林潤子氏

緩和ケアの4大要素は、①症状の緩和 ②コミュニケーションは緩和ケアの土台③家族へのケア④チーム医療であると一般の方に分かりやすい言葉でお話をして頂きました。

全てに共通することは、患者さんや家族に安心して頂く事。それには傾聴する気持ちが一番大切な事である。「家族に対し一方的に患者さんにこうしてあげてと要望が大きくなると自分をコントロールすることが難しくなると思う」と医療者側も気を付けたいと注文を付けました。



講演内容 「緩和ケアチームの役割」

講師 東京都清瀬市松山3丁目1-24
公益財団法人結核予防会 複十字病院
麻酔科・緩和ケア科 科長（兼任） 宮崎聰先生
緩和ケア病棟と緩和ケアチームの違いを分かりやすくお話しいただきました。また、主治医との調整や患者家族との調整等大変さと介入の難しさを知りました。

最後に「すべての患者さんに緩和のこころを」をモットーにしている歴史ある美山病院さんは素晴らしい病院であると述べて結んでいただきました。過分な言葉を頂戴し身が引き締まる思いです。今後も地域医療に貢献し邁進したいと思いました。